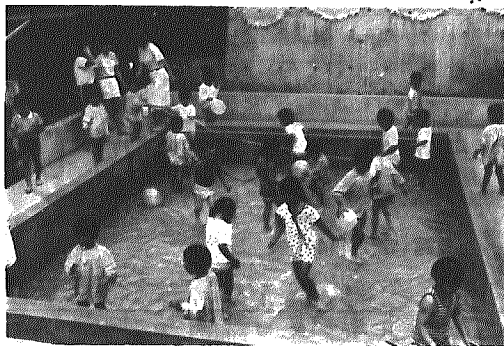


# 夏… 思いきり楽しんで

先月十日、間瀬保育園のプールが完成し、プールの開き(←左)が行われました。思いきり水遊びができる広々とした真新しいプールに「ワーノきれい」とチビッ子たちの明るい元気の音が響いていました。

一方、一日には村民体育館で各保育園年長組(五歳児)の親子スポーツ大会が開かれ、今春まで公民館で活躍された金子正孝先生の指導のもと、親子そろって楽しい一日を過ごしました。



## 心を静めて、禅のころを…

村民講座で好評の「座禅会」が今年も6月29日から7月12日まで3回、石瀬の種月寺(寒河江真爾住職)で開かれました。参加者は小学生からお年寄りまで、毎回約40人。住職の寒河江さんの指導で、ふつうの座る禅と経行という立って規律よく歩く禅を行い、みなさん、雑念(!?)をすて、禅に取り組んでいました。



## 観光朝市がオープン

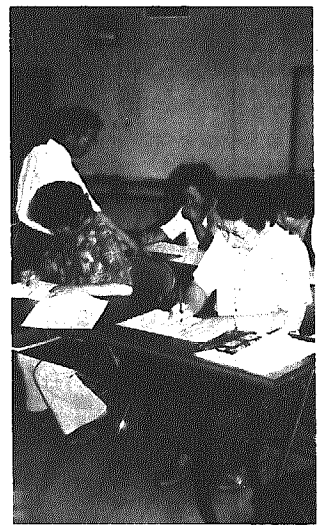
温泉街の新しいセールスポイントに——と先月二十二日①から岩室温泉街の慶覚寺境内で、「観光朝市」が開設されています。「岩室は周囲にこれといった観光施設がなく、宿泊客は朝の時間を余りしがち」ということからオープンしたもので、初日の二十二日は午前六時半開店。青果、鮮魚、菓子、植木など八業者が午前九時まで店を並べ、出足も好調——。この朝市、今年はお泊まり客の多い土、日に合わせ十一月までの毎週日曜日に開設される予定です。みなさんいかがですか……。



# 鳴き声、姿… 風格抜群 阿部多蔵さん(西中)



▲本格的な海のシーズンを前に——先月十四日、新潟西蒲救難所(間瀬漁協、巻町漁協、新潟市五十嵐浜漁協で組織)の救助員の救難訓練が、約30人が参加して間瀬漁港で行われました。新潟海上保安本部の指導員から指導を受け、救命索発射訓練(=写真)や人口呼吸法など救難措置法を約2時間半にわたって実習しました。



◀「上達のほどが楽しみ」——公民館の婦人学級で、六月二十九日と先月六日の二回、「硬筆教室」が開かれ大好評。二回で終了に「もつと続けたの聲が。この教室は婦人学級の受講者が対象で、二十人の参加者は、前教育長の木村要先生のもとで練習に励んでいました。

**成人式**  
**8月15日(水)**

20歳になられたみなさん、成人おめでとうございます。  
村では、晴れの門出の記念に、8月15日(水)公民館で成人式を行います。  
ご出席ください。

第三十六回を数える上越市日本鶏品評会で優等賞を受け、全国大会ともいうべき、三重県二見町で開かれた日本鶏保存会天覧会で日本鶏の代表選手、トウマルで、三重県教育長賞を受賞した西中の阿部多蔵さん(六十四歳)を訪ねてみました。この天覧会には全国でも最も権威のあるものとされ、全国各地から日本鶏の愛好者が集まってくる。なかでも、トウマルは、本県が原産とされ、別名長鳴き鳥とも呼ばれ日本鶏の王様——。阿部さんが出品したのは、現在七羽(うち四羽はヒナ)飼っているトウマルのうちの一羽で、三年前吉田町の知り合いからヒナを譲り受けたも

の。今年四月二十二日上越市で開かれた品評会で優等賞を受けており、「ひよつとすると…」の期待もあったという。阿部さんはトウマルを育てて三年足らずですが、「小さいころから鳥は好きで、ニワトリなどはよく飼っていたが、まさかトウマルを飼うとは…」という。トウマルは、まず鳴き声が大事。阿部さんのものは、平均でも十秒間は、独得の声で鳴き続ける。審査は、鳴き声、姿、形、歩き方まで総合評価される。自宅脇の鶏舎の中で、黒緑色でつやのある堂々たる風格でのし歩いている。こんなトウマルに仕上げる秘けつは「系統のものを入手することが第

一です。次に日常の管理。尾の汚れを洗ってやるとか、病気の予防接種、鶏舎のフンの仕末とかキメ細かな手入れをすること」という。そして何よりもえさがものをいう。生きたドジョウなど栄養化のあるものを食べさせないとつやがでないそうである。ところでトウマルは夏場毛が抜け、十一月ころまでには、丸裸に近くなる。そのため冬に寒ふなどのカルシウム分のあるものを与え、春また美しいつやを出す。「来春、上越市でいただいた優勝旗の返納のためまた出品します。手抜きものを出せないで、厳しくなりますね」と気を引き締めていました。